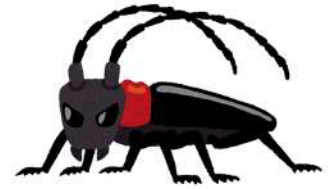
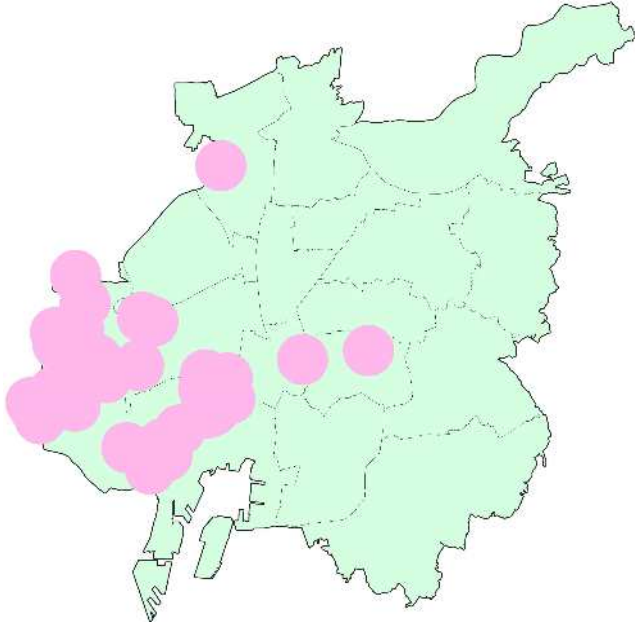


桜の天敵



クビアカツヤカミキリ にご注意ください！



被害樹木の分布（令和4年末）
※ 全て防除を行っています

特定外来生物※ クビアカツヤカミキリ が
名古屋市内でも分布を拡げています

繁殖力が非常に強く
幼虫が **サクラ・ウメ・モモ・スモモ** などの
幹の内部を食い荒らして枯らすため
他都市ではサクラ並木が大打撃を受けるなど
社会問題となっています

成虫が見られるのは6～8月頃
成虫になるまで1～3年かかるため
長い間幼虫として樹木の中に潜んでいます

※ 特定外来生物：生態系などに悪影響を及ぼす恐れがあることから
飼育や生きたままの移動などが禁止されています

被害の拡大を防ぐには
幼虫が活動する5～9月に樹木を点検し
早期に発見・駆除することが大切です

詳しくは裏面をご覧ください
被害が疑われる場合は
なごや生物多様性センターへご連絡ください



幼虫
(掘り取ったもの)



成虫

クビアカツヤカミキリ

- 【分類】 コウチュウ目 カミキリムシ科
- 【自然分布】 中国, モンゴル, 朝鮮半島, 台湾, ベトナム
- 【移入分布】 埼玉県(2011年), 愛知県(2012年), 群馬県・東京都・大阪府・徳島県(2015年), 栃木県(2016年), 茨城県・三重県・奈良県・和歌山県(2018年), 神奈川県(2021年)
愛知県内の分布は名古屋市, 弥富市, 飛島村, 蟹江町, 愛西市, 津島市
- 【形態】 体長22～38mm. 体全体は光沢のある黒色. 前胸背板は赤色で側面にとげ状のコブをもつ.
触角は黒色でオスは体長の1.7倍ほど, メスは体長より少し長い程度
- 【生態】 サクラ, ウメ, モモ, スモモなどの樹木に寄生する. 幼虫は樹木の内部で1～3年過ごし形成層周辺を食害, 被寄主は衰弱し枯死に至る. 成虫は6～8月ごろ出現する. 海外の報告ではザクロ, オリーブ, ヤナギ, コナラなど多くの樹種を加害するとされる
- 【その他】 特定外来生物として平成30年4月1日規制開始(生体の移動や飼育等は違法)



ご不明な点は
お気軽にお問い合わせ
ください

名古屋市環境局 なごや生物多様性センター

【電話】 052 - 831 - 8104
【FAX】 052 - 839 - 1695
【E-mail】 bdnagoya@kankyokuyoku.city.nagoya.lg.jp

樹木点検のポイント

- 被害樹木は「サクラ・ウメ・モモ・スモモ」に集中しています。
- 被害樹木からは「フラスと呼ばれる幼虫のフンと木くずが混ざったものが排出されます。このフラスを見つけることがカギとなります。
- フラスは幼虫が樹皮に空けた穴から排出されます。穴の場所は根本付近が最も多く、2mを超えるような高さではあまり見られません。
- フラスの主成分は“生木の木くず”です。明るい黄土色やオレンジ色でゴマを薄切りにしたような1～2mmの粒子が、カリントウやひき肉状に固まっていることが多いようです。

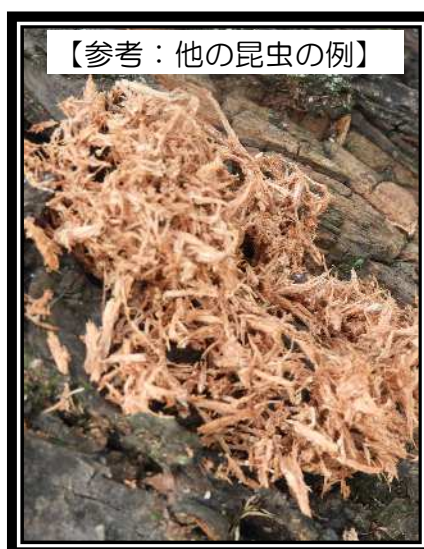
【参考写真】



幹の穴からひき肉状のフラスがぶら下がっている。
太さ約5ミリ



ひき肉状ではない例、粒子がゴマの薄切りに似る。
粒の大きさ1～2ミリ



【参考：他の昆虫の例】

粒子の形状で他の昆虫と見分けることができる。写真は別種のカミキリのもの



根元付近では、幹から落ちたり根際から出たフラスが溜まっていることが多い